

NEWS RELEASE

**最先端の DNA 合成技術を有するバイオベンチャー  
シンプロジェン社へ出資**

2023年3月2日

富士フイルム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一）は、このたび、最先端の DNA 合成技術を持つ株式会社シンプロジェン（以下、シンプロジェン社）の第三者割当増資を引き受け、同社に出資しました。本出資は、ライフサイエンス領域のコーポレートベンチャーキャピタル（以下 LS-CVC）を通じて実施するものです。

近年、バイオ医薬品市場では、抗体を主成分とした抗体医薬品のみならず、外部から正常な遺伝子を導入し疾患を治療する遺伝子治療薬、細胞そのものを投与して疾患を治療する細胞治療薬などの研究開発が活発化しています。このような中、各種バイオ医薬品の設計図の役割を担い、同医薬品の製造に必要な原材料となるプラスミド DNA<sup>※1</sup>の重要性がますます増えています。

シンプロジェン社は、2017年に設立された、神戸大学発のバイオベンチャー企業です。化学合成した多種類の DNA を指定の順序と向きに連結し、枯草菌<sup>※2</sup>の中で環状化させることで、目的のプラスミドを作成する DNA 合成技術「OGAB<sup>®</sup>法」<sup>※3</sup>を確立。現在、「OGAB<sup>®</sup>法」などを活用して、超長鎖・高難度のプラスミド DNA の合成やウイルスベクター<sup>※4</sup>の設計・開発・分析などを行うサービスを展開しています。

今回、当社は、2022年に立ち上げた LS-CVC を活用し、シンプロジェン社に出資しました。本出資を通じて、シンプロジェン社が保有する、高度なプラスミド DNA 合成技術・ノウハウにアクセス。当社の重点領域である、バイオ医薬品の開発・製造受託事業の応用展開を図っていきます。

また、シンプロジェン社とのパートナーシップのさらなる強化に向けて、バイオ医薬品用のプラスミド DNA およびウイルスベクターのグローバルな供給体制構築に関する協議も同社と進めていきます。

当社は、自社での技術・製品開発に加え、外部パートナーとの連携も強化することで、事業の成長スピードを加速させるとともに、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいきます。

※1 目的遺伝子を細胞内に運ぶために使用される DNA。

※2 枯れた草や土などに存在する細菌。

※3 Ordered Gene Assembly in Bacillus subtilis 法の略。

※4 細胞に外来の目的遺伝子を導入するために使う遺伝子組換えウイルス。ウイルスがもつ病原性に関する遺伝子が取り除かれ、外来の目的遺伝子が組み込まれている。

**【シンプロジェン社の概要】**

会社名	株式会社シンプロジェン
代表者	山本一彦（代表取締役 社長 兼 CEO）
所在地	兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1
設立	2017年2月
事業内容	DNA 受託合成および遺伝子治療バイオファウンドリ™・サービス

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

【報道関係】 富士フイルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ  
TEL 03-6271-2000

【その他】 富士フイルム株式会社 ライフサイエンス戦略本部  
TEL 03-6271-3030